

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)

【公開番号】特開 2000-76620 (P2000-76620A)
 【公開日】平成 12 年 3 月 14 日 (2000.3.14)
 【出願番号】特願 平 10-243942
 【国際特許分類第 7 版】

G 1 1 B 5/31

G 1 1 B 5/39

【F I】

G 1 1 B 5/31 D

G 1 1 B 5/31 C

G 1 1 B 5/31 K

G 1 1 B 5/39

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 8 月 26 日 (2004.8.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

磁氣的に連結され、且つ記録媒体に対向する側の一部が記録ギャップ層を介して対向する第 1 の磁極および第 2 の磁極を含む少なくとも 2 つの磁性層と、磁束を発生させるための 1 層あるいは 2 層以上の薄膜コイルとを有する薄膜磁気ヘッドであって、

第 1 の磁性層と、

この第 1 の磁性層と分割して形成されると共に、前記記録ギャップ層との隣接面の反対側の面が、前記第 1 の磁性層の一部領域に磁氣的に結合された第 1 の磁極と、

無機系材料により形成されると共に、少なくとも前記第 1 の磁極の前記記録媒体に対向する側の反対面から前記第 1 の磁性層の一方の面に連続的に形成された絶縁層と、

前記記録ギャップ層を介して前記第 1 の磁極に対向すると共に、前記記録媒体に対向する面から奥側に向けて前記第 1 の磁極よりも長く形成された第 2 の磁極と、

この第 2 の磁極と分割して形成されると共に、前記第 2 の磁極の前記記録ギャップ面との隣接面の反対側の面の少なくとも一部において前記第 2 の磁極に磁氣的に結合された第 2 の磁性層と

を備えたことを特徴とする薄膜磁気ヘッド。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

【課題を解決するための手段】

本発明による薄膜磁気ヘッドは、磁氣的に連結され、且つ記録媒体に対向する側の一部が記録ギャップ層を介して対向する第 1 の磁極および第 2 の磁極を含む少なくとも 2 つの磁性層と、磁束を発生させるための 1 層あるいは 2 層以上の薄膜コイルとを有する薄膜磁気ヘッドであって、第 1 の磁性層と、この第 1 の磁性層と分割して形成されると共に、記録ギャップ層との隣接面の反対側の面が、第 1 の磁性層の一部領域に磁氣的に結合された

第 1 の磁極と、無機系材料により形成されると共に、少なくとも第 1 の磁極の記録媒体に対向する側の反対面から第 1 の磁性層の一方の面に連続的に形成された絶縁層と、記録ギャップ層を介して第 1 の磁極に対向すると共に、記録媒体に対向する面から奥側に向けて第 1 の磁極よりも長く形成された第 2 の磁極と、この第 2 の磁極と分割して形成されると共に、第 2 の磁極の記録ギャップ面との隣接面の反対側の面の少なくとも一部において第 2 の磁極に磁氣的に結合された第 2 の磁性層とを備えた構成を有している。